見て ふれて やってみて学ぶ 楠目小

２学期になって新型コロナウイルス警戒レベルが下がったこともあり、各学級では、地域の方に来てもらったり、外へ出たりして学習活動に取り組んでいます。

子ども達は、体験することで自分の体を通して能動的・実感的に学び、その学びは内から『ことば』となって湧き出てきます。今年の研究主題である『ことばを通してつながりを楽しむ子ども』の育成を目指し、全校で取り組んでいます。

【１年】生活科「なつとあそぼう」で、自分達で考えた水遊びを楽しみました。

【２年】市立図書館を見学し、司書の方に図書館のことを詳しく教えていただきました。

【３年】地域の方から『藍染』を習って、自分のハンカチを思い思いに作りました。

【４Ａ】香美市婦人会の方と、プリンせっけんや活性液づくりをしました。

【４Ｂ】森林組合の協力で、山を守る活動の一つとして、間伐体験を行いました。

【５年】自分達が足を運んで調べた香美市の名所の魅力を、高知工科大生の協力で動画にまとめています。

【６年】今年もケナフを育て、自分の手漉きの卒業証書を手作りする予定です。

学校安全（生活安全）舟入小

本年度は高知県教育委員会から、『学校安全（生活安全）』の指定を受け、研究を進めています。高知県教育委員会が作成した『高知県学校安全プログラム』をもとに、県内の学校安全教育は行われています。

安全教育は、『交通安全』『災害安全』『生活安全』に分かれています。舟入小学校が受けた『生活安全』は学校生活の中にひそむ危機から自分の身をどう守るかという内容になります。

南国署の協力による教室の実施

◆ＳＮＳ教室（５・６年生）

身近な問題としてのＳＮＳ教室を実施しました。

ネットでのいじめ問題や課金問題など真剣に聞き入っていました。

◆誘拐防止教室（１・２年生）

下校中にランドセルをつかまれたらどう逃げるかについて実地訓練を行いました。家に一人でいる時に不審者が来たら、道端で不審者に声をかけられたらなど、今日の下校時にも起こりうる事例に真剣に耳を傾けていました。

アンケートの実施

県の作成したアンケート調査を行い、その中で興味深い結果が出たのが次の設問です。

◆事件や事故にあわないようにするための方法を、家族と話していますか。（児童）

◆事件や事故にあわないようにするための方法について、子どもと話をしていますか。（保護者）

	している	ときどきしている	していない
低学年	３９．６％	３７．７％	２２．６％
高学年	２１．６％	４３．１％	３５．３％
保護者	４７．１％	４８．５％	４．４％

▲親はきちんと話をしているつもりでも、子どもは真剣に受け止めていないのかもしれません。

いのちゆたかに 第二とさやまだ幼稚園

～豊かな体験を通して 生きる力を育みます～

幼稚園は、子どもたちが初めて出会う学校です。

安心・安全な環境の中でたくさんの友だちや先生とかかわり、感動体験を積み重ねていく子ども達。やりたいことを見つけると、失敗しても何度も何度も繰り返し挑戦する姿があります。自分で考えチャレンジしようとする力は、大きくなってからの意欲や創造力を発揮することにつながります。

四季折々の行事、地域の人たちとのかかわり、外部講師の方と一緒に行う音楽や英語、運動、硬筆、数遊びなど、子どもたちは目を輝かせ興味関心をもって取り組んでいます。様々な活動を通して、子どもたちの可能性の芽が育ち、大きく花開くことを願っています。

【運動遊び】
水に顔をつけてみよう

【運動会】
年長児の組み立てたいそう

【敬老はっぴょうかい】
年中児の和太鼓演奏♬

みんなで頑張ったうんどうかい!!